

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	女性のライフプランニング支援総合推進事業	担当部局庁	生涯学習政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成23年度	担当課室	男女共同参画学習課	男女共同参画学習課長 笹井 弘之				
会計区分	一般会計	施策名	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	男女共同参画基本計画、教育振興基本計画					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	女性が社会で活躍するに当たり、主体的な働き方を選択していくことができるよう、多様な選択肢の存在や、ワーク・ライフ・バランスに関する情報を提供することにより、女性が自己の可能性やライフステージ別の自己イメージを若い時期から持てるよう支援する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	本事業では、女性が、就職・結婚・妊娠・出産といったライフイベントを視野に入れ、長期的な視点で、自らの人生設計(ライフプランニング)を行うとともに、女性が能力を発揮して、主体的に働き方・生き方を選択することを支援するため、女性のライフプランニングに係る学習プログラムの開発や学習機会の提供等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	25	18	10	-	
		補正予算	-	0	0	-	-	
		繰越し等	-	0	0	-	-	
		計	-	25	18	10	-	
	執行額	-	21	18	-	-		
執行率(%)	-	84.0	100.0	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	女性のライフプランニング支援に係る学習プログラムの受講者の評価 満足度[%] ※各年度で事業内容が異なるため、同じ成果指標ではかることが困難である。		成果実績	%			90.9	
			達成度					
	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)	
	ワークショップ参加者の評価 満足度[%] ※各年度で事業内容が異なるため、同じ成果指標ではかることが困難である。		成果実績	%			80	
			達成度					
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	女性のライフプランニング支援に係るプログラム数 ※各年度で事業内容が異なるため、同じ活動指標ではかることが困難である。		活動実績	プログラム数			6	
			(当初見込み)				(6)	
	ワークショップ開催回数 ※各年度で事業内容が異なるため、同じ活動指標ではかることが困難である。		開催数					(2)
単位当たりコスト	2百万円 (円/6団体)		算出根拠	22年度委託事業費÷委託団体数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.8百万円	-	※23年度限りの経費				
	職員旅費	0.7百万円	-					
	委員等旅費	1.2百万円	-					
	庁費	7.4百万円	-					
計	10.1百万円	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業における目的は概ね達成されたものと判断する。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、女性の主体的な生き方を支援するために、女性のライフプランニングに係る学習プログラムの開発や学習機会の提供等を行うものである。これらの業務を委託していることから、事業内容の再点検の観点で検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、平成21年度から実施されているものであるが、学習プログラムもテーマ別に開発し、実際に活用されており、ワークショップの参加者や学習プログラムの受講者の満足度は高く、本事業の所期の目的は概ね達成したと言える。このことから平成23年度で廃止することとする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
所見のとおり、本事業における所期の目的は概ね達成されたため、平成23年度をもって廃止する。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

文部科学省
18百万円

先進事例に関する情報収集、体制整備事業の委託先の選定、当該事業・ワークショップの成果分析、事業成果を反映したリーフレットの作成



[公募・委託]

A. 地域総がかりでの女性のライフプランニング支援体制整備事業

特定非営利活動法人等(全6団体)
15百万円

ライフプランニング支援に係る学習プログラムの開発
(対象層: ①女子中高生②雇用されている女性③不就業で生活困難を抱える若年女性)

本省執行分2.5百万円を含む

諸謝金: 0.5百万円
旅費: 0.6百万円
外国旅費: 0.3百万円
委員等旅費: 1.2百万円
庁費: 0.6百万円

A. みずほ情報総研株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	コンサルタント(調査実施)等	2.9			
雑役務費	データ入力・集計費(一式)	1.0			
一般管理費	—	0.4			
印刷製本費	印刷・封入作業	0.2			
通信運搬費	アンケート発送、回収	0.2			
計		4.7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研株式会社	学校教員のライフプランニングに関する調査研究	4.7	企画競争	—
2	特定非営利活動法人関西子ども文化協会	女子中高生を対象としたライフプランニングに関する学習プログラム開発	3	企画競争	—
3	特定非営利活動法人「育て上げ」ネット	困難を抱える若年無業女性を対象としたライフプランニングに関する学習プログラム開発	2	企画競争	—
4	特定非営利活動法人全国女性会館協議会	女性関連施設における総合事業評価システムの開発、普及活動	2	企画競争	—
5	特定非営利活動法人男女共同参画フォーラムしずおか	働いている30歳前後の独身女性を対象としたライフプランニングに関する学習プログラム開発	2	企画競争	—
6	財団法人横浜市男女共同参画推進協会	生活困難を抱える若年(シングル)女性を対象とした自立支援学習プログラム開発	2	企画競争	—